

# 保護者の優しさとは？

本プログラムのねらい	期待される効果
○子供の活動や持ち物、家庭でのルールなどの決め方を振り返ることで、保護者としての適切な関わり方について意識を高めることができる。	○子供のために「よかれ」と思っていた関わりの教育的意味について考えることができるようになる。

活動の主な流れ	運営上の留意点
<p>1 オープニングプログラム「出身地で地図をつくろう」等を行った後、3～4人グループをつくる。(15分)</p> <p>(例) 今回は、子供の持ち物や家庭でのルールの決め方について、一緒に考えてみましょう。その前に、ちょっと心と体をリラックスさせましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを配布しておく。</li> <li>▶▶ オープニングプログラム参照</li> </ul>
<p>2 ワークシート1・2を記入し、グループ内の意見を聞き、感想などを話し合う。(40分)</p> <p>(例) ワークシート1の表をご覧ください。そこには、「子供の活動」や「持ち物」、「家庭でのルール」などが書かれています。皆さんの家庭では、主に誰が決めていますか？「現状は？」と「理想は？」のそれぞれの欄にある「保護者」・「相談」・「子供」の中で、最もあてはまるものを選んで、○をつけましょう。</p> <p>➡ ワークシート1の欄に「○」をつける。(5分)</p> <p>(例) ※ほぼ全員が書き終えたことを見届けてから理想と現実とを比べてみて、どんなことに気付きましたか？気が付いたことをワークシート2に記入しましょう。</p> <p>➡ ワークシート2に記入する。(5分)</p> <p>(例) ※ほぼ全員が書き終えたことを見届けてから同じグループ内の話を聞いてみましょう。どなたからでも構いません。「相手の話を受け止める」ことを大切にして、情報交換をしましょう。</p> <p>➡ グループごとに話し合う。(30分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間に合わせて、事前にワークシートの項目を減らして行ってもよい。</li> </ul>
<p>3 グループごとに発表し、気が付いたことなどをワークシートに書きとめる。(5分)</p> <p>4 アドバイス資料等を全体で読み合い、自分で考え自分で行動できるようにするにはどうしたらよいかなどについて、考えたことをワークシート等を書く。(5分)</p> <p>(例) 今日の話合いや資料の中で、印象に残った言葉があれば書きとめ、これからの家庭での関わり方について考える材料にしてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況に応じて、文部科学省の家庭教育手帳「子どもの言うことを何でも聞くことが、親のやさしさとは限らない」「自分で考え自分で行動できる人に育ててほしい」などを読み合わせる。</li> <li>▶▶ 「エンディングプログラム」参照</li> </ul>

